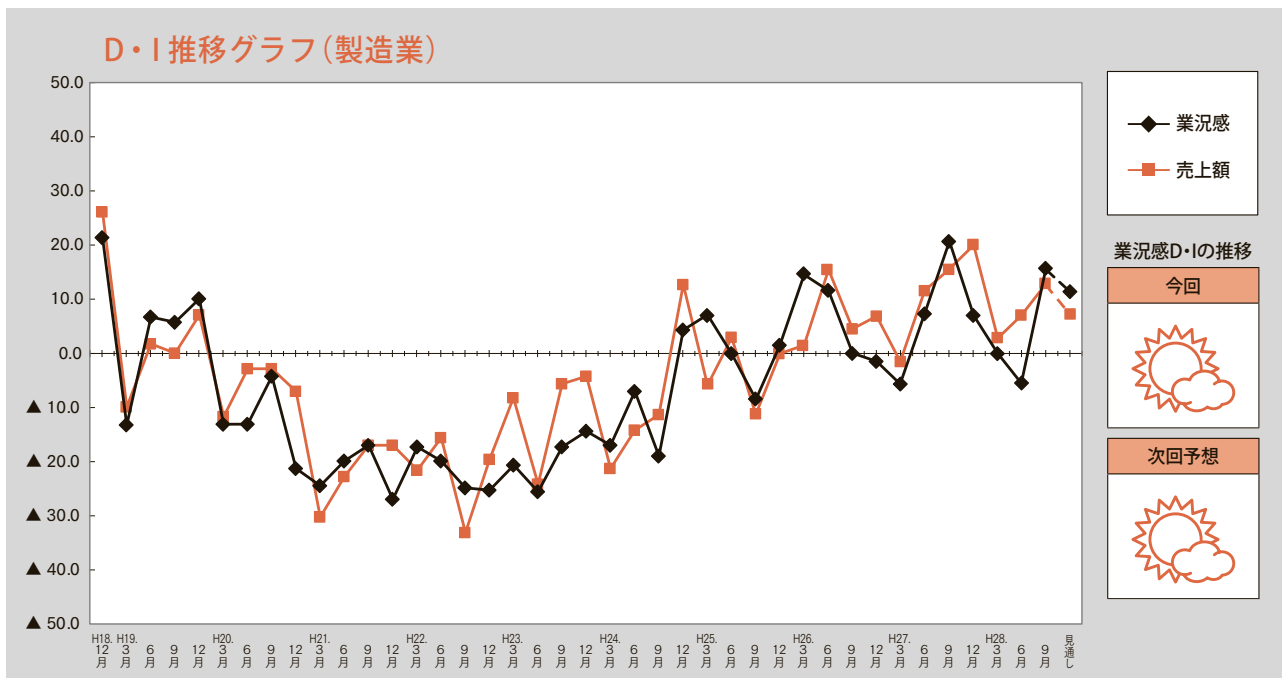


製造業

Manufacturing

業況感 4 期ぶりに改善



1 今期 (平成28年7 - 9月期)

今期の業況感は15.7まで上昇。前期比で21.3ポイントと4期ぶりに改善し、2期ぶりにD I 値プラスとなった。

内容を見ると、全ての項目において前期から改善。仕入価格D I 値の悪化に歯止めがかかり、売上額、販売価格が改善した結果、収益が改善し、業況感が改善したと思われる。資金繰りも改善し、全体的に好調となっている。

2 来期の予想 (平成28年10 - 12月期)

来期は業況感がやや悪化する見通しとなっており、今期より4.3ポイント低下するものの、D I 値は11.4とプラスを維持。見通しでは売上・収益に不安が見られるが、販売価格、仕入価格ともに改善が見込まれている。仕入価格、資金繰りはそれぞれ改善傾向、横ばいにあるものの、依然としてマイナスとなっている。

DI 値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H27. 9月期	H27. 12月期	H28. 3月期	H28. 6月期	H28. 9月期	来期見込み
業況感	20.3	7.1	0.0	▲ 5.6	15.7	11.4
売上額	15.7	20.0	2.9	7.0	12.9	7.1
収益	10.1	14.3	▲ 1.4	0.0	12.9	2.9
販売価格	8.6	11.4	2.9	5.6	5.7	7.1
仕入価格	▲ 15.7	▲ 18.6	▲ 12.9	▲ 25.4	▲ 15.7	▲ 11.4
在庫	5.7	2.9	▲ 8.6	0.0	0.0	4.3
資金繰り	▲ 4.3	▲ 7.1	▲ 20.0	▲ 14.1	▲ 2.9	▲ 2.9
人手	10.0	18.6	10.1	7.0	15.7	20.0
設備状況	12.9	15.7	15.7	11.3	18.6	17.1

業況調査メモ

県内各地で湧出している温泉水がミネラルウォーターとして販売されているが、消費者の高齢化や健康志向に伴って市場は拡大、業界も活況を呈している。10種類もの飲む温泉水が製造販売されている垂水市内でも断トツの販売実績を誇る「財宝温泉」は自社工場ですべての容器から作り、大量生産体制を早くから構築している。これまで飲む温泉水の販売のなかった薩摩川内市の市比野温泉でも、昨年8月から「薩摩の奇蹟」を販売している。県内の飲む温泉水の先駆け、霧島市営「関平鉱泉」は製造工程のほとんどを全自動化し、生産能力も最大1.5倍に強化した新工場を6月に稼働させた。